

<b>科目名 Course Title</b>	新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム		
<b>講義題目 Subtitle</b>	新渡戸カレッジ特別演習:実践型課題解決演習		
<b>責任教員 Instructor</b>	金子 純一 [KANEKO Junichi] (大学院工学研究院) 新渡戸カレッジ: 谷 博文 [TANI Hirofumi] (大学院工学研究院) 新渡戸カレッジ: ホワイトフィールド デールリー [WHITFIELD Dale Lee] (高等教育推進機構)		
<b>担当教員 Other Instructors</b>	椎名 希美 [SHIINA Nozomi] (スタートアップ創出本部)		
<b>科目種別 Course Type</b>	新渡戸カレッジ独自科目		
<b>開講年度 Year</b>	2026	<b>期間 Semester</b>	通年
<b>授業形態 Type of Class</b>	演習	<b>単位数 Number of Credits</b>	2
<b>補足事項 Other Information</b>	-		
<b>キーワード Key Words</b>	地域課題、フィールドワーク、PBL、ソーシャルアントレプレナーシップ、社会的インパクト、共創		
<b>授業の目標 Course Objectives</b>	<p>本科目は、大学院共通授業科目(教育プログラム):実践型アントレプレナーシップ教育プログラム「実践型課題解決演習」として開講し、新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム履修生へは、「新渡戸カレッジ特別演習:実践型課題解決演習」としても開講する。学生自らの専門的知識と新渡戸カレッジで培う「3+1 の力」(能力更新力、組織形成力、社会還元力、専門職倫理)を活用し、チームによるプロジェクトを進めていく。</p> <p>本授業は、地域社会が抱える現実の課題を起点に、調査・対話・構想・提案のプロセスを通じて、社会的価値と経済的持続性を両立させる解決アイデアを創出できる人材(ソーシャルアントレプレナー)の育成を目的とする。学生は、地域でのフィールドワークや関係者へのヒアリング等を通じて課題を構造的に理解し、その上で、実装可能性と社会的インパクトを意識した解決策をチームで構築・提案する。単なるアイデア創出にとどまらず、「なぜその課題が生まれているのか」「誰にどのような変化をもたらすのか」を深く考察することを重視する。</p>		
<b>到達目標 Course Goals</b>	<p>本授業の到達目標は、以下の通りである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に根ざした社会課題を、多角的な視点から調査・整理し、構造的に捉える力を身につける。</li> <li>・フィールドワークやステークホルダーとの対話を通じて、課題の本質を言語化する能力を養う。</li> <li>・社会的価値と事業性の両立を意識した解決アイデア(ソーシャルビジネスモデル)を構想できるようになる。</li> <li>・チームでの協働を通じて、合意形成、役割分担、発信力を含む実践的なプロジェクト遂行能力を身につける。</li> </ul>		
<b>授業計画 Course Schedule</b>	<p><b>Kick-off/ガイダンス</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソーシャルアントレプレナーシップ概論</li> <li>・地域課題の捉え方、フィールドワークの方法論</li> </ul> <p><b>地域理解・課題探索フェーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワーク(現地調査、観察、ヒアリング)</li> <li>・地域課題の整理・構造化</li> </ul> <p><b>課題定義・アイデア創出フェーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題の再定義</li> <li>・解決アイデアの発想、仮説構築</li> </ul> <p><b>事業・実装検討フェーズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的インパクトと持続可能性の検討</li> <li>・簡易ビジネスモデル設計</li> </ul> <p><b>最終発表(Final Presentation)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題に対する解決提案の発表</li> <li>・講評・振り返り</li> </ul>		

### 準備学習(予習・復習)等の内容と分量 Homework

- ・チーム内での事前調査、文献
- ・統計データの収集
- ・フィールドワーク後の振り返り、整理
- ・最終発表に向けた資料作成

### 成績評価の基準と方法 Grading System

授業への参加・貢献度(議論、フィールドワークへの主体性等):40%  
課題提出(地域課題分析・提案内容):30%  
最終プレゼンテーション:30%

### テキスト・教科書 Textbooks

ソーシャルビジネス、社会起業、地域創生に関する文献・関連する地域連携・起業支援プラットフォーム等

### 講義指定図書 Reading List

### 参照ホームページ Websites

<https://nitobe-college.academic.hokudai.ac.jp/>

### 備考 Additional Information

- ・フィールドワーク実施地域やテーマは年度ごとに異なる可能性がある。
- ・本講義は公開講座と並行して開講するため、他大学の学生も参加する。

開催日時:2026年8月31日～9月3日(4日間)

9:00～17:00 予定※日によって変動

場所:HBA 本社またはフィールドワーク先

〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西7丁目1番地8

※札幌駅徒歩7分程度

定員:15名程度(応募者多数の場合は抽選)

参加費:無料

応募締切:2026年6月30日(火)

<https://forms.gle/AZX5rTVWV2AkhCzH6>

履修希望者は上記 URL よりお申込み下さい。

応募者多数の場合は抽選となります。履修登録は事務局が一括して行います。

※本科目は、大学院共通授業科目(教育プログラム):実践型アントレプレナーシップ教育プログラム「実践型課題解決演習」として開講される。新渡戸カレッジオナーズプログラム大学院カリキュラム履修生で、当該科目の単位を修得した者は、新渡戸カレッジオナーズプログラムの「新渡戸カレッジ特別演習:実践型解決演習」の2単位を修得したものとみなし、同カリキュラムを修了するために必要な単位に含めることができる。詳細については、新渡戸カレッジ独自科目責任教員(谷、[tani@eng.hokudai.ac.jp](mailto:tani@eng.hokudai.ac.jp))に問い合わせること。